

かながわ農業活性化指針の施策の実施状況について

施策の方向 1 生産性の向上と担い手の育成・確保

(1) 多様な担い手の育成・確保及び経営発展段階に応じた支援

ア 多様な担い手の育成・確保

地域の農業生産や必要な農地を確保するため、新規就農者の確保・定着の取組を推進するとともに、女性の農業進出や小規模経営体の農業生産の継続、農福連携の取組等を支援する。

<令和4年度実績>

- ・ 新規就農者数 129 人、新規参入法人数 1 法人
- ・ 新規就農希望者等に対し電話による就農相談（相談者数 238 人、28 法人）
- ・ 経営発展を目指す女性農業者を対象とした「かながわなでしこ farmers' college」の開催（4 日間・2 回、10 人修了）
- ・ 女性農業者の経営発展に必要な新商品の試作費用や機械等の導入に対する支援（4 件）
- ・ かながわ農業アカデミーにおいて、障害福祉サービス事業所職員向けの農作業体験研修の開催（3 日間・1 回、8 人受講）



かながわなでしこ farmers' college



電気乾燥機を利用した新商品の開発
(ドライフルーツの作成)

イ 経営発展段階に応じた支援

農業生産の中核を担う経営感覚に優れた経営体を確保するため、就農から経営発展段階に応じた研修会や巡回指導を行う。

<令和4年度実績>

- ・ 新規就農者を対象とした基礎セミナーの開催（受講者 137 人、巡回指導延べ 1,291 回、集合研修 50 回）
- ・ 基礎セミナー修了者を対象とした経営発展のためのステップアップセミナーの開催（集合研修 6 回）
- ・ かながわ農業版 M B A 研修の開催（12 日間・1 回、6 人修了）



かながわ農業版MBA研修

ウ 生産性の向上などを図るために必要な機械・施設等の整備促進
県産農産物の生産の拡大や生産性の向上のため、生産施設等の整備を支援する。

＜令和4年度実績＞

- ・農地利用効率化等支援交付金の活用による農業機械導入に対する補助（トラクター、1件）
- ・豚舎整備に対する補助（1地区）

(2) 農畜産物の生産の拡大や産地の強化に向けた支援

ア スマート農業の推進（耕種）

地域の優れた生産技術を基に、本県農業に適したスマート農業を展開し、生産の拡大や産地の強化に取り組む。

＜令和4年度実績＞

- ・スマート技術の導入経営体数（耕種）287経営体
- ・農業物価高騰対策支援の一環として、スマート機器の導入に対する補助（温室の環境制御装置、直進アシストトラクター、ドローン等30件）

イ スマート農業の推進（畜産）

生産性の向上を図るため、畜産分野におけるスマート技術等の導入を支援する。

＜令和4年度実績＞

- ・スマート技術の導入経営体数（畜産）50経営体
- ・スマート技術導入の実績や効果を分析し、導入意向のある畜産農家に対して経営規模等に見合った機器等を紹介

ウ 生産資材価格の高騰対策など経営安定に向けた支援

経営安定のために、燃油や肥料、飼料等の価格高騰に対して支援する。また、飼料生産基盤を強化するとともに、県産畜産物の生産性や収益性の向上を図る。

<令和4年度実績>

- ・燃油の価格高騰対策として、施設園芸セーフティネット構築事業への加入促進を図るため、生産者積立金に対する補助（補助率1/2以内 10団体の99名）
- ・生産資材の価格高騰対策として、施設園芸セーフティネット構築事業への加入者を対象として、栽培施設の省エネルギー化を図るために必要な資材等の購入に対する補助（補助率1/2以内 69名）
- ・肥料価格の上昇に伴う生産者の経費負担の増加に対する補助（秋用肥料分、補助率 肥料価格上昇分の85%、うち県上乗せ15%。取組実施者24件、参加農家数2,583件）
- ・畜産農家の飼料購入費や光熱費の負担増に対する補助（補助率1/2以内 酪農家125件、肉用牛飼養農家34件、養豚農家33件、養鶏農家54件）

(3) 新品種の育成や新技術の開発及び生産現場への普及

ア 新品種の育成と普及

かながわ特産品の開発等により地域農業を活性化するため、県オリジナル品種の育成や普及に取り組む。

<令和4年度実績>

- ・イチゴ品種「かなこまち」を安定生産するための定植時期、施肥管理技術等を研究し、農家への導入を推進（栽培農家戸数60戸）
- ・イチゴ品種「かなこまち」をPRするポスターを作成
- ・青ウメ用品種「翠豊」（令和3年3月に登録出願）の生産者向け説明会の開催



イチゴ「かなこまち」



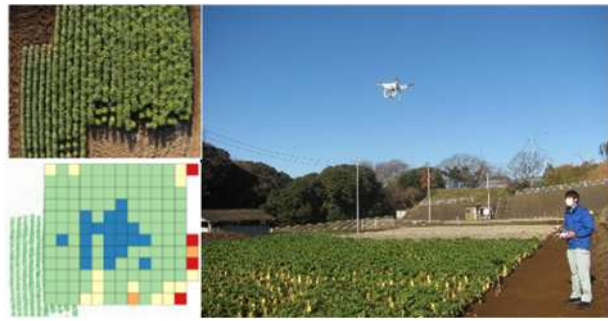
ウメ「翠豊」

イ 高品質・安定生産技術等の開発と普及

ロボット等による省力・軽労化技術など、本県に適した技術の開発と普及に取り組む。

<令和4年度実績>

- ・トマトの土耕栽培で複合環境制御技術を利用した増収、裂果軽減技術の開発
- ・ドローンによる空撮画像からダイコンやキャベツの生育状況を把握する技術等の開発
- ・新技術であるOPU（経腔採卵）を用いた効率的な後継牛確保や、多産系種豚を利用した改良型種豚の開発等による生産基盤の強化



「ドローン」を活用したセンシング技術の開発

(4) 畜産経営の体質強化に向けた総合的な支援

持続可能な畜産業を実現するため、生産性や収益性の向上、都市環境との調和等に取り組む。

<令和4年度実績>

- ・豚舎整備に対する補助（1地区）（再掲）
- ・堆肥舎や堆肥の高品質化に係る機械整備に対する補助（1地区）
- ・エコフィードネットワーク分科会の開催（3回）
- ・エコフィードに係る食品事業者や畜産農家への実態調査（1回）及びエコフィードマッチング相談会の実施（1回）

(5) 農業生産基盤の整備と農地集積の促進及び農地の有効活用

認定農業者等の中核的経営体への農地集積に資するよう、今後の地域農業を見据えた生産基盤の整備を推進する。

<令和4年度実績>

- ・農地の集積や集約を促進するため、市町村の人・農地プランの作成や更新の取組支援（3町）や農業委員会と農地中間管理機構の事業推進方針等打合せ（6回）の実施
- ・水田の区画整理工事の実施、新規予定地区内の市町村との打合せや指導、農家との意見交換会（27回）及び地区界測量（2地区、内山地区他）の実施
- ・広域農道など基幹的な農道の整備（2地区、小田原湯河原線他）

- ・ 農業用施設の強靱化のための調査、補修・補強及び改修等の実施（9地区、相模川右岸用水路他）
- ・ 市町等が事業主体となる生産基盤整備事業の支援（19市町、農道整備、水路改修等）

整備前



整備後



県営ほ場整備事業（水田の区画整理工事） 内山地区（南足柄市）

(6) 災害等のリスク対策の取組強化

ア 自然災害へのリスク対策

農業用施設の防災・減災対策や農業保険などセーフティネットの加入促進など、災害への備えを進めるとともに、農地・農業用施設に被害が生じた場合は、補助事業等により復旧を支援する。

<令和4年度実績>

- ・ 農業版事業継続計画（BCP）をHPにて周知
- ・ 神奈川県農業共済組合とともに農業保険制度を周知
- ・ 基幹的農業用取水施設や水路、取水門等の農業用インフラの防災・減災対策を実施（6地区、鬼柳堰他）
- ・ 農地・農業用施設の災害復旧の実施（1市、農道の復旧）
- ・ 市町村に対する農地・農業用施設の災害復旧への技術支援や補助事業等により復旧を支援（1市、水路の復旧）

復旧前



復旧後



県営災害復旧事業（農道の復旧） 小田原市早川地区

イ 家畜伝染病発生予防の取組

健康な家畜及び安全な畜産物を生産するため、高病原性鳥インフルエンザなどの家畜伝染病の発生予防やまん延防止、動物用医薬品及び飼料の適切な使用を推進する。

＜令和4年度実績＞

- ・家畜伝染性疾病の発生予防やまん延防止のための検査・指導を実施（6,343件）
- ・動物用医薬品の流通段階における管理状況及び品質検査を実施（立入検査23件、品質検査1件）
- ・飼料販売業者等を対象とした立入検査を実施（12件）

施策の方向2 新鮮で安全・安心な魅力ある農畜産物の利用拡大

(1) 農畜産物のブランド力の強化や付加価値向上の支援

ア ブランド力向上の取組

県産農畜産物の認知度を高め、利用拡大を図ることにより、県産農畜産物のブランド力を高め、販路拡大を支援する。

＜令和4年度実績＞

- ・かながわブランドの認知度（70.6%）
- ・かながわブランド新規登録2件、かながわブランドキャラバンの実施（県産農畜産物の販売促進イベント15回）
- ・かながわ農林水産品マッチング商談会の開催（1回）
- ・ホームページ「かなさんの畑」の運営



かながわブランドキャラバン



かながわ農林水産品マッチング商談会

イ 畜産物の出口戦略

県産畜産物の評価を高め、販路拡大につなげるため、流通・販売・消費面からのアプローチによる「出口戦略」を推進する。

＜令和4年度実績＞

- ・販路拡大などの成果があった畜産物のブランド数 5件
- ・県内畜産農家に対する理解醸成を図るためのPR動画制作や、食育・イベント等での活用

- ・ スタンプラリーや、畜産物イベント開催により、酪農等に関する理解醸成等を実施



養豚PR動画



かながわ県産生乳100%認証
スタンプラリー2022

ウ 6次産業化の取組支援

新たな付加価値を生み出すため、農産加工や観光農業、食品関連事業者との連携等の取組を支援する。

＜令和4年度実績＞

- ・ 農山漁村発イノベーションサポートセンターの運営委託（電話相談50回、支援対象者の選定4経営体及び専門家派遣11回）
- ・ 人材育成研修会（8回）や、インターンシップ研修会の開催（3回）

(2) ニーズの変化等に対応した流通・販売対策の支援

新鮮で安全・安心な県産農畜産物を供給するため、販路拡大や社会情勢の変化に対応した販売促進等に取り組む。

＜令和4年度実績＞

- ・ かながわ農林水産品マッチング商談会の開催（1回）（再掲）
- ・ 生産者向けインターネット販売講座の実施に向けた検討

(3) 農畜産物の安全・安心の推進と食育の推進

ア 農畜産物の安全・安心の確保

農畜産物の安全・安心確保のため、農薬安全対策やGAP、農場HACCPの取組を支援する。

＜令和4年度実績＞

- ・ 第三者認証等GAPに関する研修会（2回）や、GAPの取組の高度化を図るための研修会（1回）の開催
- ・ 農薬管理指導士の認定養成研修（70名受講、69名認定）や、更新研修（235名受講）の開催
- ・ 農場HACCP認証取得済み農場におけるシステム維持・向上のための現地指導・支援（7戸）

- ・飼料販売業者等を対象とした立入検査の実施（12件）（再掲）

イ 食育の推進

将来にわたり健康で長生きできる社会の実現のため、県民一人ひとりが食に関する理解を深め、健全な食生活の実践を目指し、取組を推進する。

＜令和4年度実績＞

- ・毎年8月を「かながわ食育月間」と位置づけ、民間と協働して、栄養バランスの良い食事を摂ること等をテーマに、ポスター等の作成・配布を実施（配布先：県及び県関連団体、市町村、食育を推進する民間団体等に対し、400部を配布）

施策の方向3 環境に配慮した農業の推進と生産環境の保全

(1) 環境に配慮した農業の推進

環境に配慮した農業を実現するため、有機農業を含む環境保全型農業や未利用資源を活用した農業生産を着実に推進するとともに、省エネ対策等を支援する。

＜令和4年度実績＞

- ・みどりの食料システム法に基づく県基本計画として「神奈川県環境負荷低減農業推進計画」を策定（令和5年3月）
- ・先進的有機農業者のほ場見学会（1回）や、有機農業に関する必要な知識・技術を習得するための研修会（1回）の開催
- ・地域における有機農業実施計画の策定及びその実現に向けた取組の支援（1市）
- ・環境にやさしい栽培技術と省力化に資する技術を組み合わせたグリーンな栽培体系への転換の支援（1団体）
- ・堆肥舎や堆肥の高品質化に係る機械整備に対する補助（1地区）（再掲）
- ・エコフィードに係る食品事業者や畜産農家への実態調査（1回）及びエコフィードマッチング相談会（1回）の実施（再掲）



先進的有機農業者のほ場見学会

(2) 農地等の活用・保全

農地を適正に保全するため、農業生産活動を維持・向上させる地域ぐるみの共同活動への支援や農地の活用を促進する。

＜令和4年度実績＞

- ・ 多面的機能支払事業等を行う活動団体への支援（15市町、29団体、8集落）
- ・ かながわ農業サポーターの認定（18人）や、サポーターへの貸出による耕作放棄地の解消（1.0ha）
- ・ かながわホームファーマー農園の開設（5市町、3.0ha）
- ・ オレンジホームファーマー農園の開設（2市町、0.4ha）
- ・ 団体が行う里地里山の保全活動への支援（9市町、24団体）
- ・ 里地里山地域資源活用モデルツアーの開催（2回）



地域ぐるみの共同活動による水路の泥上げ



かながわホームファーマー農園

(3) 農業の有する多面的機能等への県民の理解促進

本県農業が県民の身近で営まれるメリットを生かし、子どもたちをはじめとした県民の農業への理解を図るとともに、農業者と県民とが触れ合える場所や機会の確保等に取り組む。

＜令和4年度実績＞

- ・ 小学校での総合学習を利用した出前講座の実施（横浜市1回）
- ・ 県立花と緑のふれあいセンターでの「収穫体験プログラム」や「田植え・稲刈り体験」を実施（実施回数：161回、参加者数：1,000人（大人514人、子ども486人））
- ・ 農業農村の有する多面的機能に関する子どもたちへの理解促進活動の開催（海老名市2回、茅ヶ崎市1回、小田原市1回、開成町1回）
- ・ 市民農園の開設に係る事前相談への対応



農業農村の多面的機能に関する理解促進活動

(4) 鳥獣被害対策の推進

農作物被害を軽減し、農業生産活動を継続するために、地域ぐるみで取り組む鳥獣被害対策等を支援する。

<令和4年度実績>

- ・かながわ鳥獣被害対策支援センターにおいて、市町村と一体となり、農協や自治会など多様な主体と連携した対策の立ち上げ支援
- ・重点取組地区で技術的支援を実施（27地区）

○数値目標

施策の方向 1 生産性の向上と担い手の育成・確保 ～しっかりつくる、引き継ぐ～		
項目	基準値	目標値
1-①新規就農者数	令和3年度 134人/年 (直近3カ年平均)	令和14年 135人/年
1-②新規参入法人数	令和3年度 4法人/年 (直近3カ年平均)	令和14年 5法人/年
1-③年間販売額3,000万円以上の耕種経営体数	令和2年 148経営体	令和14年 170経営体
1-④認定農業者等への農地集積率	令和3年 21.2%	令和14年 30.0%
1-⑤農業生産基盤の整備と一体となった農地集積率	令和3年 42%	令和14年 53%
1-⑥スマート技術の導入経営体数(耕種)	令和3年 184経営体	令和14年 500経営体
1-⑦スマート技術の導入経営体数(畜産)	令和3年 47経営体	令和14年 85経営体
1-⑧畜産農家が新たに行った飼料生産基盤の強化につながる取組件数	-	令和14年 10件/年
施策の方向 2 新鮮で安全・安心な 魅力ある農畜産物の利用拡大 ～県民にとどける、よろこばれる～		
項目	基準値	目標値
2-①かながわブランドの認知度	令和3年 71.7%	令和14年 82.0%
2-②農業者が生産・販売した加工品及び運営した観光農園の年間総販売金額	令和2年 42.4億円	令和14年 48.0億円
2-③販路拡大などの成果があった畜産物のブランド数	令和3年 5件/年	令和14年 5件/年

施策の方向 3 環境に配慮した農業の推進と生産環境の保全
～環境にやさしい、まもる～

項目	基準値	目標値
3-①有機農業者数	令和 3 年 274 人	令和 14 年 380 人
3-②有機農業取組面積	令和 3 年 200ha	令和 14 年 260ha
3-③県又は農地中間管理機構 が直接解消した荒廃農地面積 (累計値)	令和 3 年 58ha	令和 14 年 100ha

総合的な数値目標

項目	基準値	目標値
農地面積	令和 3 年 18,200ha	令和 14 年 16,600ha
農業産出額 (耕種)	令和 2 年 512 億円	令和 14 年 580 億円
農業産出額 (畜産)	令和 2 年 147 億円	令和 14 年 147 億円